

65 仲順流り（イ）

あれは、仲順ウスメーといつてですね、三人の男の子を生んでですね、その嫁さんを貰ったわけですよ。そのですね、仲順流りというのは父親です。それが出てきて、その子どもですね、性質を調べるんです。

最初にね、長男から。

「僕らはね、これで長くないんだから、君の子を捨ててね、僕を助けなさい」と言うたそうです、長男の子に。そうしたならばこの長男の子がですね、父親にね。この父親、仲順ウスメーと言います。

「仲順ウスメーは馬鹿になつて、こういう立派な子を捨ててあなたの命を救えと言うんですか。これはできません」と言つてですね、押し返してしまつた。倒すんですよ。これは、仲順ウスメーはですね、

「これでは僕の命をとて救わない」。そうして長男は帰るんです。

今度は次男に言うんです。次男にもね、

「次男の子ども、よく聞いてくれ。僕はもう助かるわけないんだが、君の子を捨ててね、僕の命を助けなさい」と言うた。それもやっぱりまた次男も、その長男が言つたように、

「仲順ウスメーは馬鹿になつて、どうしてこんな子どもを。とてもできません」と押し返したそうですね。またですね、仲順ウスメーはまたも、

「これではもう命は助からない、だめだ」と言つて、するんですが。押し返して次男もまた、嫁さんを自分の子どもにですね。

今度は三男がですね、この仲順ウスメーにこの三男の子が、

「子どもはね、生まれれば生まれる。親の命はだめにしたらもうおしまいだ。子どもは生まれるだけまた生まれるんだから、子どもを捨てて親を助ける」と、仲順ウスメーに言うんです。この仲順ウスメーは、

「ありがとう。君がそういうふう to 考えてくれたら感謝する。じゃあそうしてくれねえ」と言つて、この三男のほうに頼んだらしい。

そうしたら、この三男の子は、

「はい」と言つて。

「子はもう捨てて、あなたの命は僕が救うから、安心しなさい」と言つて、この父親に言うんです、仲順ウスメーに。

「ありがとう、そうしてくれねえ」と言つて、これをもう頼んで。それから、

「君の子は捨てるんだから、東のムイのね、三本松の下に三尺穴掘つてね、埋めなさい」と言うんですよ。仲順ウスメーがですよ。そして、言つて仲順ウスメーが帰るんですよ。

その三男はですね、子どもを連れて、この三本松のあるところを探しに行く。子どもを連れてですね。そして、この三本松を探して、村のね、村のずうとあちらこちら改めて、三本松はここにある。じゃ、ここに三尺穴を掘つて埋めようといつて、夫婦ともね、やるんですよ。

そして、三尺穴掘つてね。埋めようとする場合なんです、ね、そこに黄金の玉が入つてあるんですよ。それが破裂してですね、花咲くんですよ。

それでね、もう子どもの命も救われて。

類話

字真栄平

比嘉ス工、喜納カメ、金城 苗、
玉城亀雄

字新垣

金城栄吉